第 27 回　日本骨粗鬆症学会での発表内容

○研究課題

三原市医師会病院で就業している職員の健康維持促進を目的とした FLS チームの取り組み

○研究趣旨

健康診断にて骨密度検査を実施し、骨粗鬆症に対する意識向上・早期発見・早期予防・早期治療

○倫理審査申請の要点

骨密度検査が被爆を伴うこと。

また、得られたデータを学会発表データとして用いること。

○研究の概要

地方病院である三原市医師会病院において就業者の年齢構成は、全国平均より高く健康問題を理由とした離職者も散見され、職員数確保が喫緊の課題である。今回は、健康維持促進のために骨粗鬆症に対する意識向上および骨密度検査実施までの取り組みについての報告である。

2025 年 1 月時点、当院で就業している全職員 319 名を対象とし、骨粗鬆症に対しての意識調査のアンケートを実施した。回答者 9 割以上が骨密度検査を実施してみたいとの需要があったため、骨密度検査を実施する流れとなった。

ＦＬＳチームとして、今回の取り組みを院内・院外に発信していく必要性があると考えている。

○研究等の対象および実施場所

骨密度検査を希望された三原市医師会病院全職員を対象に骨密度検査を実施

○研究等における倫理的配慮

問診表は一括管理し、得られた個人情報については本人が特定されないようデータで管理する。

○問題が生じた場合の責任の所在

三原市医師会病院 FLS チームリーダー　安原愼治

○その他特記事項

第 27 回日本骨粗鬆症学会にて発表

発表者　リハビリテーション科　山崎渉太